

平成27年度 ふれあいトーク記録票

とき:11月 13日(金) 19:00~20:30 会場:荒川地区公民館 大ホール 参加人数:49人

開催地区名	NO	発言内容	答弁内容
荒川	1	(1)まちづくり活動に参加して、様々な人と巡り合うことが出来、また、地域を知ることが出来、よかったと思っています。今後は、まちづくり活動を地域全体に広めていきたいと思っています。官民協働のまちづくりですので、今後も資金だけでなく様々なノウハウの提供など支援をお願いしたいと思います。 (2)村上市の職員は、まちづくりについてどのような考え方をしているのでしょうか。市の職員の方にも積極的にまちづくりに目を向けて活動して欲しいと思います。	(1)ノウハウの提供は今後もしていきますが、これからはもっと地域の人達同士知恵や工夫を出し合って進めていっていただければと思います。資金については、まち協に出ていますので、活用していただければと思います。 (2)職員の任務は、市民の福祉の向上が目的です。市民の福祉向上には、まちづくりが必要であるわけで、ここに暮らす人が誇りをもって生活するために、一番やらなければいけないことがまちづくりで、その思いは、私も職員も一緒だと思っています。
荒川	2	(1)まちづくりの位置づけは。	(1)既存の団体がすでに行っている事業を、まち協を核に集約していく必要性はないと考える。ただ、皆さんの中で集約すべきと考えるところがあるのであれば、集約もあrikaとは思うが、更なる発展のため連携など、どうあるべきなのかを考えた方がよいと思います。
荒川	3	(1)荒島保育園を、みんなが憩える場所にしようとして整備を進めていますが、住民のパワーだけでなく行政からの支援も必要ですので、今後も応援をお願いしたい。	(1)市内には様々な活動をしている団体の方がおりますので、そんな方達と連携するなどし、互いに悩みやノウハウを共有するなどしてスキルアップを図って下さい。
荒川	4	(1)荒川地区には各集落にプール兼防火水槽としてのプールがあったが、順次解体するとの話を聞きました。佐々木集落も来年度に計画されているとのことですが、防火水槽の役目もあるので、地区にあった防火水槽を設置してもらいたい。	(1)地域全体の防火体制を考えたらうで、どこに防火水槽の配置をしていくのが良いのかを考えることが重要で、危険なものは排除し必要な箇所に設置していくべきと考えます。
荒川	5	(1)村上市のHPを見る機会があるが、広報の内容レベルの情報を得られることが少ない。もう少し分かりやすく、また、市民の意見を取り入れるような感じにしてみたい。「見たい」、「知りたい」情報がすぐに見れるように改善して欲しいです。あと、もう少しおもしろく作ってもらいたいです。	(1)広報は、市にとって永遠の課題です。手をかえ品をかえて情報提供をさせていただいておりますし、各課のページの中にはコメントを返してもらえらる仕組みも有りますし、意見をいただければと思います。いただいたコメントについては、即時に返答をするような仕組みになっております。この分野は、日々成長している部分でもありますし、現在フェイスブックもやっておりますので、是非、その辺でコメントやつぶやいていただければ、レスポンス良くお返しが出来るかと思っています。今後は、このSNSの世界は避けて通れませんので、しっかりとやっていきたいと思っています。
荒川	6	(1)収入があつて生活基盤がしっかりしていなければ幸せは実感できないと思う。現在の年金制度では、不安であるが、年金について今年、来年どのようなになっているか分かったら教えていただきたい。	(1)現在の年金制度のなかで、しっかり医療を受けることが出来る仕組み、生活していくことが出来る仕組みになっていますが、これが根本的におかしくなってきた部分があるのかもしれませんが、それも人口減少がもたらしている影響だと思っています。ですから、全体の仕組みの中で圧縮された部分を、生活しているこの村上市の中で支援していくことで、所得は減ったとしてもここで生活していることに幸せを感じてもらえればと考えています。大変さを払拭してやるのが、この小さな自治体のなかで出来ることではないかと思っています。
荒川	7	(1)高齢者への弁当は配布など、今まであったものがなくなってしまったということは、些細なことですが、住みにくくなったと感じます。災害時などは、ボランティアの力が必要になるわけですが、ボランティアの力を維持するためには繋がりが大切だと思いますので、人の繋がりをつないでいくためにも、なくなってしまった活動を復活させていただきたい。	(1)高齢者への弁当配布については承知していないので、確認したいと思います。あったものがなくなるには、それなりの理由が有つてのことだと思っています。先程もお話しましたが、行政の役割は、市民が幸せになることが一番の目標ですので、闇雲に廃止するということはないと思います。

開催地区名	NO	発言内容	答弁内容
荒川	8	(1) スポ少への助成について、大人と一緒に3分の1ではなく、スポ少に限っては分母を小さくしてもらいたい。	(1) 2020年東京オリンピックが開催されるわけですので、スポーツ振興については力を入れていきたいと考えています。
		(2) 総合体育館について、9月頃耐震診断を行ったと思いますが、その結果について教えていただきたい。	(2) 耐震診断の結果については、まだ私のところには届いておりませんので、どうゆう結果が出たのかは、今の時点では承知しておりません。
荒川	9	(1) 県外に出た人にいずれ戻って来てもらうためにも、広報や空き家情報などの村上市の情報を、県外に出た人に向けて発信したら良いのではないのでしょうか。	(1) 現在市では、成人式の際に開催案内を出していますが、そのときに一緒に情報提供が出来れば良いと考えました。 10月に東京・表参道裏のカフェ8軒と連携し村上の食材を体験していただくイベントを開催いたしました。そこに来てくれた人たちの評価などを含め村上の情報がフェイスブックを介し広がっていったのを実感しました。今後は、この広がったものをこちらに戻してあげる仕組みをつくる必要があると考えています。 また、村상을しっかりと見てくれる、村上に愛着を持ってくれる人達に、そういった人達を大切に思っている気持ちを表す方法として、同窓会の経費の一部を助成するなどの支援をしていくことも必要と考えます。
荒川	10	(1) 公共交通に関してですが、荒川地区では原信及び胎内市平木田の鈴木医院を乗降場所に追加していただけないのでしょうか。	(1) 役所の中でも議論が白熱する部分ではありますが、民業圧迫ではないと言われるかもしれません。しかし、市民のニーズは原信であるのも事実で、他所の地区でも要望があります。診療所については、全部の診療所に停める止めても良いのではと考えています。お店については、原信に止めるのであれば、全部の店にも止めろとなりますので、その辺は工夫させて下さい。
荒川	11	(1) 来年4月から高校生が政治に参加します。このことについて、市議と一緒によく考えておいていただきたい。	(1) 市議のみなさんと一度、しっかり話をさせていただきたいと思います。
		(2) 患者がいるからといっても医者に来てくれません。仕事（論文を書くこと）が出来るところでなければ、医者は来ない。指導者の体質を変えていかなければならないと思います。	(2) 研修医がなかなか来ないという現状があります。しかし、ここにある命は守らなければいけないと思います。ですから、たとえ無駄であっても、願いをしていくつもりです。
荒川	12	(1) 坂町病院にもMRIを導入してもらいたい。	(1) 県のほうに要望をしていきたいと思います。